

キッズみんなの日記

11月号

おかげさまで「キッズみんなの日記」も今回で第一〇〇号を迎えることができました。以前の担当の市澤から引き継ぎ、まださほど経っておりませんが、この記念すべき第一〇〇号の誌面を作ることができ、とても嬉しく思っております。梨セミルマガもそうですが、いつの間にか、かなり長い時間が経っているんだなと、なんだか感慨深くなります。

さて、今回の第一〇〇号ですが、誌面の半分はいつものように今月の優秀作品を掲載しておりますが、後半の半分は過去に掲載した優秀作品に再度スポットを当て、掲載いたしました。既に中学生になっている塾生の作品も数多くございますので、中学生の塾生達も当時の自分たちのことを振り返りつつ、懐かしい気持ちになっていただければ幸いです。いまです。この日記も素晴らしい文章ですので、現キッズ生は是非参考にしてくださいね！

優秀作品紹介

★日常のコマを生き生きと★

ユーカリ交つ公園
ぼくは、がっこうから
バスでユーカリ交つ公園に行きました。



ついてけいさつひとがいてその人じてんしゃのりかたをおしえてもらいました。話がおわったらまずは、男子はじてんしゃで女子はゴーカートにのりました。しんごうもあったのでよいれんしゅうになりました。つきにゴーカートにのりました。はじめてなのでどういふふうにか

すかよくわからなかつたけど、せつめいしてもらったのでよくわかりました。
のっているじてんしゃよりきもちよかったです。のれてよかったです。



(小ニ Y T 君)

ユーカリ交通公園で何をしたのかというところ、そして、そこで何を学んだのかを詳しく書いています。また、自転車に乗ったときの気持ちもちゃんと表現しています！

★★自分の思いを伝える★★

京葉ガスの大会

今日、サッカーの大会がありました。じゅんけつしょうのPKでぼくがけることになりました。したときどきしましたが、ぼくはとりあえずサイドにむかっておもいきりければいいと思いました。ボールをけたらポストにあたってしまいました。



(小三 Y S 君)

ボールを蹴る瞬間の気持ちを「ときどき」と表現していますね！これは擬態語という表現技法なのですが、表現技法を使うと、より豊かな表現を作ることができます！見習いたいテクニックです！

花のお手入れ

私は花の植えかえをしました。私が一番好きな花は、ミルフルという花です。ミルフルは、花びらがフリルでいっぱいのかわいい花です。すこしパンジーにもなっています。植えた色は黄色系や青系、むらさき系、ピ

ンク系で四色です。

一つ一つが大きくなって花だんいっぱいに広がってお花畑みたいになってくれるとうれしいです。ケイヨーデイツーに行くことがあればお花売り場があるのでぜひ見てみてください。



(小四 M H さん)

お花の様子がとても詳しく書いてあり、どんなお花なのかということが想像しやすいですね！日記の基本は一つの事柄をより詳しく書くことにありますので、とても良いですね！

☆☆出来事や気持ちをより細やかに伝える☆☆

なんでも全力

わたしが通っている宮久保小学校では、十月二十四日に、運動会があります。わたしは白組で、赤組には強い人がたくさんいます。今日の全校練習では赤組が勝ちました。でもこんなことを言っているところでもないで友達と「勝つぞー」と何回も言い、気合い十分で練習しました。そして、自分たちの力をたくさん赤組に見せつけました。



このことから、「勉強も運動もなんでも成功させる！」という気持ちが大切だと思いました。じゅくでも、自分の力を出して、これからはがんばっていきます。

(小五 S N さん)

これからの目標で文章を締めくくるところや、自分の経験から学んだことを上手にまとめていきますね！これは高校受験でも通用する構成です！素晴らしい！

授業参観

今日、十月二十日に学校で授業参観がありました。私たちのクラスは、体育館で

とび箱をしました。今回の授業参観のめあては、クラス全員自分の力で台上前転ができるようになる！ということですが、私は、ふだんの授業では先生に手伝ってもらわないとできないので、出来るかドキドキしていました。

そして、いよいよ私の順番が来ました。「くぐるうりんばく。」

先生のアドバイスをもとに一回すると、なんといいことでしょうか。台上前転が出来ました。とてもうれしかったです。

(小五 R M さん)

緊張から喜びといった気持ちの変化を上手に表現することができています！「くぐるうりんばく。」といった楽しい比喻表現もアクセントになっていいですね！

買えなかったパン

日曜日、お母さんがテレビで放送されていたパン屋に行きたいと言ったので、買い物に行きました。本当は、パンを買ってお昼に食べようとお母さんは考えていましたが、お父さんが「そっだけよって帰るのはもったいない。」と言ったので、と中で昼ごはんを食べて少し買い物をしてからパン屋に行くことになりました。そして、買い物をおえしてパン屋に行くとき、売り切れの紙がはつてありました。お母さんは、「パンだけ買に行つていれば買えたのに。」と残念がっていました。ぼくも、かいにきたパンが食べられなくて、残念でした。

(小六 H S 君)

会話文を上手につかいて、日常のコマを生き生き表現しましたね！会話文を使うことでその時々のお気持ちも伝わりやすくなります。見習いたいテクニックですね！

第一〇〇回記念！ 歴代の優秀作品紹介

赤ちゃんを見にいった

わたしは、金曜日（第45号掲載 小一 NHさん）に赤ちゃんを見にいきました。おうちにつくと赤ちゃんはぐっすり寝ていました。わたしは、そのとき、かわいいなとおもいました。



わたしが、おきるかな、とおもって手をくすぐって見たら、わらいもしないで寝ていました。そのとき、あかちゃんは、ねるのとおっぱいをのむのがしごとなんだよ、とお母さんが教えてくれました。

ちなみに、わたしのしごとは、べんきょうだそうです。赤ちゃんが大きくなったら、いっしょにそびたいです。

赤ちゃん（第45号掲載 小一 NHさん）の様子の表現がとても良いですね！ただ「ねていた」ではなく、「ぐっすり」や「わらいもしないで」などを書くことによって、の様子を想像することが出来ます！この日記が掲載されてから四年以上経っていますから、きっと赤ちゃんともたくさん遊べたことでしょうね！

友だちとしゅう字

今日、お友だちと公民館のしゅう字にきました。まちあわせていっしょにいったので、せきもとなりでした。

書いた字は、「なす」と「つぼう」でした。「なす」は書いたことがあるけど「つぼう」は、はじめてでむずかしかったから、先生といっしょに書きました。と中で友だちの方を見てみると、友だちのほうがかうまかったです。名前の上に小二と書いていいのかわからなかったので先生に聞きに行ったら、「ここに小二って書ける？」

と、聞かれました。書いてから、もう一ど見せに行くと「うまい。」と言われました。うれしかったです。またつきもがんばろうと思いました。



書道教室の様子をとても詳しく書いています。また、先生とのやり取りや褒められたときの気持ちなど、日記に必要な全ての要素が盛り込まれていますね！小学二年生の段階でこれだけ完成度の高い日記を書けているなんて、すごいですね！

学校のプール（第52号掲載 小二 Yさん）は、三年生になつて、いっしょのプールでした。きょうのプールの水は、すごくつめたくて、がくがくふるぶるでした。まちがえてふかいたところに行つて、水をのんでしまつて、その時は、すごくあせりました。



学校のプールは、三年生になつて、いっしょのプールでした。きょうのプールの水は、すごくつめたくて、がくがくふるぶるでした。まちがえてふかいたところに行つて、水をのんでしまつて、その時は、すごくあせりました。シャワーもすごくつめたかったです。でも、すごく楽しかったです。

「がくがくふるぶる」の表現におもわず笑ってしまつたことを思い出しました。始めに寒さを強調したことによって、「でも」の後ろの「楽しかった」がより引き立ちましたね！接続語を上手に使っていますよ！

雨と水道

三連休の最後の日、遊び足りないぼくと妹。家の目の前にある公園で遊ぶことになりました。そして、げん関の戸を開けたとき、「ザー。」突然、大つぶの雨が地面にたたきつけられるようにふつてきました。「閉め忘れたんだな。」

「あのね、雲の上には鳥さんのトイレがあつてね、その横には水道があるの。」

「へー。」

「それでね、閉め忘れるとお水があふれて雨になるの。」

「ふーん。」

よくわからないけど、妹らしい考え方で「ビタッ。」

「ほら、止まった。」

「止まった」じゃなくて「止んだ」でしょ。」

「あつ、そうだった。」

「はあ。」



でも、水道が止まったように雨も止んで二人で楽しく遊べました。

擬声語を使い、雨の降る様子を上手に表現していますねーまた、会話文の使い方も非常にいいですね！会話文は使い方によってその場面を輝かせる役割があります！皆さんも見習ってみてくださいね！

ひじき

私は、ひじきのマリネは好きです。でも、きのうと今日は、それとはちがうメニューでした。



きのうは、はるまきの中にひじきが入っていて、今日は、ふつうのひじきの煮物でした。煮物は本当に味がふつうという感じであまり好きではありません。でも、先生がこんなことを言っています。

「食べ物を食べられないで、バタッて死んでいく人もいるんだよ。」

私はその言葉を思い出し、食べられるのはすごいことなんだから、食べなきゃと思いませんでした。

これからも、その言葉を思い出し、ちゃんと食べたいです。
（第76号掲載 小五 YMさん）

日常の「コマ」を上手にまとめている作品の一つです。こう思ったことなどを日記に書いて欲しいのですが、なかなか書けるものではないですね。皆さんも何か感じたことがあれば、その時、これを日記に書こうと意識してみるのがいいですよ！

のびたみたいですね

「Hさん、じゃあ、レントゲンとりましよう。」

「はい。」

ぼくは今、病院にいます。なぜでしょう。なぜかという、バスケットボールで転んで人に指が当たり、いためてしまったからです。



そして、レントゲンをとり終わると、いきなりお医者さんに、「えー、のびたみたいですね。」

「ノビタミタイ？」

ぼくは、思わずお医者さんにいわれたことをリピートしてしまいました。だって、まあ、運動神経はそこそこで、勉強もそこそこで、すが、のびたほど悪くはないからです。

「いやいや、そうじゃなくて、じんたいが伸びたみたいですね。」

「あー、そっこの「伸びた」か。」

日本語ってややこしいですね。

（第82号掲載 小六 TH君）

この日記には大いに笑わせてもらいました。物語や説明文、それこそ歌などでもそうですが、題名はとても重要です。この作品は題名と内容がマッチしていて、秀逸ですね！日常の「コマ」をユーモアたっぷりで描いてくれますよ！

●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kondai.comまたは、編集担当▼藤田 Fujita@kondai.com まで、ご一丁ご郵送ください。皆様の「ご意見」を参考に、より良い紙面作り努めて参ります。